

精華町デマンドバス実証実験について

精華町（町長：杉浦正省）、西日本電信電話株式会社京都支店（支店長：大野 敬 以下、NTT 西日本）はオンデマンド型乗合バスによる「精華町デマンドバス実証実験^{※1}」を、本日から2021年3月28日まで精華町の一部地域（山田荘小学校区及び精華台小学校区の一部）にて実施します。精華町では、便利で使いやすい公共交通網の構築をめざしており、その第一段階として精華町内の公共交通の効率化を図ることを目的に、予約制乗合バス（＝デマンド交通）の導入を検討しています。町内の移動手段を確保することで、交通課題の解決と住民の移動活性化による地域社会の持続可能性を高めることをめざします。

※1 本実証実験では関西学研都市交通株式会社が車両運行に協力しています。

1. 本取り組みの背景

昨今、地域の交通手段を確保するうえで、地方公共団体が果たす役割は大きくなっており、精華町においても、既存の公共交通がカバーできない地域でコミュニティバスを運行することで住民の移動活性化を図っています。

一方、多くの自治体において、コミュニティバスの運行に課題があることも明らかになっており、精華町でもさらなる利便性の向上が期待されています。特に本実証実験の対象地域では町内の各地点を経由してコミュニティバスを運行するため、役場等の公共施設への移動に時間がかかるという課題がありました。今回は、このような課題を抱える当該地区において、デマンド交通を導入することで、住民の移動時間の短縮や利便性の向上を通じた利用者増加をめざし、本実証実験を行うに至りました。

2. 実証内容

本実証実験では、山田荘小学校区及び精華台小学校区の一部地域をカバーするデマンド交通を提供することで、交通課題の解決に向けた検証を行います。

- ・実施期間：2021年3月4日～2021年3月28日
- ・運行時間：9:00～18:00（平日・土曜・日曜・祝日も運行）
- ・実施場所：京都府相楽郡精華町の一部地域（山田荘小学校区及び精華台小学校区の一部）
- ・主な検証内容
 - 利用者の満足度
 - 運用効率性（需要に対応するための配車数、オペレーター数など）
 - 周辺商業施設等と連携した価値提供の可能性（チラシやクーポン配布等）

※本実証実験は、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により事前の予告なく中止する可能性があります。

3. 役割分担

精 華 町 : 実証実験の企画、関係各署との調整支援、広報を通じた住民理解の促進
NTT 西日本 : 実証実験の実行支援、運行計画の作成、運行データ分析

4. 今後の展開

精華町は、本実証実験の結果をもとにさらなる公共交通網の整備、効率化を進めてまいります。また、町内に住む誰もが移動しやすく暮らしやすいまちづくりを実現するために、これからも継続的に取り組んでまいります。

<別紙>

実証実験の実施場所：京都府相楽郡精華町の一部地域

